

第1学年 外国語科学習指導案

指導者 伊東 葵

ALT Tayla Meyer

1 単元名 Unit6 A Speech about My Brother (New Horizon English Course1 東京書籍)

2 単元について

○教材観

本単元は、留学でフィリピンのセブ島にいる兄の卓也について、朝美がスピーチで紹介し、同じクラスの海斗が質問をして、フィリピンの食べ物についてやり取りをするという展開になっている。朝美のスピーチでは、卓也が日常の様子を書いているブログについても紹介されている。家族、友だち、好きな芸能人やキャラクターなど、身近な人または発表者にとって興味のあるものなどを聞き手が理解し、関心をもってもらえるような紹介スピーチができることを目標にする。

言語材料としては、一般動詞の三人称単数現在形の肯定文、否定文、疑問文とその応答が扱われており、第三者についての説明をするだけでなく、聞き手がその人やものについて質問をすることができるようになる。

単元終末のパフォーマンステストでは、ALTのお母さんから「どのような学校で働いているの？日本での様子が分からなくて心配だね。」というメッセージが届いた設定で、ALTのお母さんを安心させるように、テイラー先生の学校での様子を紹介する動画を作成するという課題を設定した。単元の中では、言語活動を充実させ、さまざまな話題についてやり取りを行い、発表していくことで、新出語句や言語材料である三人称単数現在形を繰り返し活用させていくと同時に、発表の内容についても深めていけるようにしていきたい。また、事実を発表するだけではなく、自分の考えや気持ちを入れ込んだ発表を目指していく。

○生徒観

本学級の生徒は、外国語学習に対して非常に前向きであり、特に「話すこと」については積極的に英語を使用する姿が見受けられる。以前授業の中で、「街中で外国人と、英語で話したことがある人」という質問に、28人中7人が話したことがあると回答した。生徒たちに話を聞くと、「小学校の授業で学んだ表現を使った」「知っている単語をつなげて話をした」と学んだことを生かしながらコミュニケーションを取った生徒が多かった。また、外国人と話したことがない21人の生徒も、授業の中ではALTと積極的にコミュニケーションを取ったり、友だちと積極的に英語で会話したりするなど、「話すこと」に対しての苦手意識はそれほど高くないように感じている。

しかし、中学校から本格的に始まった「書くこと」については、苦手意識をもつ生徒が多い。英文を書くことだけでなく、単語を書くことに難しさを感じている生徒が多数いるため、単語の確認などは、何回かに分けて行うなど、負担を軽減しながら指導してきている。意欲的な生徒は、自主学習で書く練習をしてくるが、苦手なままそのままにしている生徒もいるのが現状である。

英語が得意な生徒も不得意な生徒も授業を通して「自分は英語を使って、これならできる」という達成感や自信を高め、英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする主体的な態度を育てていきたい。

○指導観

本単元の指導にあたっては、言語活動を充実させるために、質問に対して答えるだけのやり取りではなく、自分の考えや気持ちを盛り込んだやり取りを行うよう、常に意識させながら授業を展開している。単元終末のパフォーマンステストでは、「テイラー先生の家族を安心させる」という目的がある。単元の中で設定されている言語活動を行う際、生徒たちには「目的・場面・状況」と単元の目標をリンクさせながら繰り返し伝え、事実のみを羅列するのではなく、自分の考えや気持ちを盛り込むことができるように指導していく。

また、教科書本文の扱い方については、内容理解とともに、自分のスピーチでどのような内容や表現が使えるかなど、本文をアレンジしながら引用し、生徒自身が言語材料や新出語句を活用できるように指導する。また、Unit6のみならず、ここまで学習してきた内容に加えて、小学校6年生の時に使用していた教科書も使いながら、これまでに扱った簡単な語句や基本的な表現なども繰り返し指導していく。これまでの既習事項など、生徒自身が身につけている力を最大限に活用しながら単元終末のパフォーマンステストに向かわせていきたい。

3 「CAN・DO リスト」の形での学習到達目標（第1学年）

	話すこと [発表]
1年生	身近な人や有名人について、内容を整理して、簡単な語句や文を用いて発表することができる。

4 単元の目標

テイラー先生の家族に安心してもらうために、テイラー先生の日本での様子について紹介することができる。

5 言語材料

○表現

三人称単数現在形の肯定文、疑問文、否定文

Takuya lives in Cebu. / Takuya does not write a blog. /

Does Takuya like Filipino food? — Yes, he does. / No, he does not.

○語彙

speech / brother / sister / language / Asian / student(s) / weekday(s) / weekend(s) / scuba diving / has / his / dive / diving / Cebu / ...year(s) old / go ...ing / blog / local / spot(s) / does / comment(s) / post(s) / waterproof / camera / a lot of ... / very much / doesn't (does not) / anyone / any / question(s) / mix / Filipino / sinigang / halo-halo / and so on

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在形の特徴やきまり、文構造を理解している。 ・テイラー先生の日本での様子などについて、整理した内容をもとに、三人称単数現在形などを用いて伝える技能を身につけている。 	テイラー先生の家族に安心してもらうために、テイラー先生の日本での様子などについて、整理した内容をもとに、まとまりのある紹介をしている。	テイラー先生の家族に安心してもらうために、テイラー先生の日本での様子などについて、整理した内容をもとに、まとまりのある紹介をしようとしている。

便宜上、以下のように示す。

ア：「話すこと（発表）」知識・技能 イ：「話すこと（発表）」思考・判断・表現

ウ：「話すこと（発表）」主体的に学習に取り組む態度

7. 単元の指導と評価の計画（全8時間）

時間	目標（◆） 主な言語活動（○）	評価			
		知	思	態	◎評価規準（評価方法）
1	<ul style="list-style-type: none"> ◆単元の目標を理解する。 ◆教科書本文を聞いたり読んだりして、見えそうな表現を引用したり、既習の知識を活用しながら、アニメキャラクターのうちの1人について伝えることができる。 ○自己目標を設定する。 ○教科書の本文の概要を、教師とやり取りをしながら捉える。 ○教科書で使われている表現を参考にしながら、アニメキャラクターのうちの1人についてペアに伝える。（自力でやってみる活動①） ○自分のスピーチをクロームブックで録画する。 				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 <振り返りシート>
2	<ul style="list-style-type: none"> ◆朝美の兄（卓也）の紹介スピーチ(Part1)を通して、三人称単数現在形の肯定文の表現等に気づき、活用することができる。 ◆教科書の表現を引用しながら、アニメキャラクターを1人選び、メモをもとに紹介することができる。 ○本文(Part1)の内容を、教師とやり取りをしながら捉える。 ○本文(Part1)で使われている新出語句の意味や三人称単数現在形（肯定文）の形式・意味・機能を理解する。 				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。 <振り返りシート>

	○教科書で使われている表現を参考にしながら、選んだアニメキャラクターについて、前回とは違うペアで伝え合う。(自力でやってみる活動②)			
3	<p>◆朝美の兄(卓也)の紹介スピーチ(Part2)を通して、三人称単数現在形の否定文の表現等に気付き、活用することができる。</p> <p>◆教科書の表現を引用しながら、学校の先生について紹介することができる。</p> <p>○本文(Part2)の内容を、教師とやり取りをしながら捉える。</p> <p>○本文(Part2)で使われている新出語句の意味や三人称単数現在形(否定文)の形式・意味・機能を理解する。</p> <p>○教科書で使われている表現を参考にしながら、自分で選んだ人物について、前回とは違うペアで伝え合う。(自力でやってみる活動③)</p>			<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p><振り返りシート></p>
4 本 時	<p>◆テイラー先生が最近挑戦していることについての相談にこたえられるように、専門的なアドバイスができる北東中の先生を紹介することができる。</p> <p>○先生を1人選び、メモを頼りに紹介スピーチを録画する。(3回目を提出)</p> <p>○中間指導・評価を通して、本時の目標に迫るスピーチに練り上げる。(内容面・言語面)</p> <p>○教科書等の表現内を参考にする。</p> <p>○1回目と3回目に録画をした動画を比べて、目標に準拠した振り返りを行う。</p>			<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p><振り返りシート></p>
5	<p>◆朝美と海斗の会話(Part3)を通して、三人称単数現在形の疑問文の表現等に気付き、活用することができる。</p> <p>◆教育実習にきている先生に、学校の先生を紹介することができる。</p> <p>○本文(Part3)の内容を、教師とやり取りをしながら捉える。</p> <p>○本文(Part3)で使われている新出語句の意味や三人称単数現在形(疑問文)の形式・意味・機能を理解する。</p> <p>○ペアで、自分が選んだ先生の紹介と自分の考えや気持ち等を伝え合い、相手の発表に対して質問したり、答えたりしてやり取りを行う。</p> <p>○アドバイスを受け、先生の紹介を再考し、録画する。</p>			<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p><振り返りシート></p>

6	<p>◆教科書本文(Part1~3)をまとめて聞いたり読んだりして、使われている新出語句の意味や三人称単数現在形の形式・意味・機能を改めて理解することができる。</p> <p>◆前時で録画した動画を見返し、内容や文法事項の適切さを確認</p> <p>○教科書本文(Part1~3)をまとめて聞いたり読んだりして、使われている新出語句の意味や三人称単数現在形の復習を行う。</p>			<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p> <p><振り返りシート></p>
7	<p>◆ALT のテイラー先生の家族に安心してもらうために、テイラー先生の日本での様子について紹介することができる。</p> <p>(単元週末のパフォーマンス課題)</p> <p>○メモを頼りにパフォーマンス課題に取り組む。(録画)</p> <p>○班の友だちのパフォーマンス課題の動画を見て、良かった表現やアドバイスなどを Google チャットに打ち込み、クラス全体で共有する。</p>	○	○	<p>単元の評価規準 ア・イ・ウ 〈記録動画・行動観察・振り返りシート記述分析〉</p>
8	<p>◆メモを頼りに自分の発表を打ち込み、正確さを確認することで、より相手に伝わるまとまりのある文を書くことができる。</p> <p>○自分の発表をドキュメントに打ち込み、英語使用の正確さを確認する。</p> <p>○打ち込んだ文章をクラスで共有し、友だちと確認し合い、相互にコメントし合う。</p>			

(※) パフォーマンステストについて

◎パフォーマンステストの内容

ALT のテイラー先生は日本に来て 3 年経ちました。先日、テイラー先生から相談を受けました。テイラー先生はお母さんから、「今年度の学校の様子はどんな感じなの。コロナウイルスも少し落ち着いて何か変化はあるの。」とメッセージが届きました。あなたはテイラー先生から、「私の家族が安心するように、私の日本での様子を家族に伝えてほしい。」と頼まれました。テイラー先生の家族に安心してもらうために、テイラー先生の日本での様子について紹介する動画を撮影し、テイラー先生の家族に送りましょう。

◎パフォーマンステストにおけるルーブリック（評価基準）【話すこと [発表]】

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
a	三人称単数現在形の文法や表現において、誤りのない正しい英文で、テイラー先生の日本での様子について伝えることができる。	テイラー先生の家族に安心してもらうために、テイラー先生の日本での様子について、自分の考えや気持ちとともに伝えている。	テイラー先生の家族に安心してもらうために、テイラー先生の日本での様子について、自分の考えや気持ちとともに伝えようとしている。
b	三人称単数現在形の文法や表現において、誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文で、テイラー先生の日本での様子について伝えることができる。	テイラー先生の家族に安心してもらうために、テイラー先生の日本での様子について伝えている。	テイラー先生の家族に安心してもらうために、テイラー先生の日本での様子について伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール（※イタリックは誤り）

(b の姿)

Hello. I'm ○○. Ms. Tayla works at Hokutoh Junior High school. Our school *have* 259 students. She lives around here. She *walk* to school. She comes to our school on Thursdays and Fridays. She *go* to elementary *school* on Mondays, Tuesdays and Wednesdays. She speaks clear English. She *enjoy* teaching. At the lunch time, she *don't* have lunch with us. She enjoys our school. Don't worry. Thank you.

(a の姿) 下線部

Hello. I'm ○○. Ms. Tayla works at Hokutoh Junior High school. Our school has 259 students. She lives around here. She walks to school. She comes to our school on Thursdays and Fridays. She goes to elementary school on Mondays, Tuesdays and Wednesdays. She is very busy, but she is always kind. I enjoy talking with her. She speaks clear English. She enjoys teaching and I enjoy her class. At the lunch time, she doesn't have lunch with us. So, I want to have lunch with her. She enjoys our school. Don't worry. Thank you.

8 本時の学習

(1) 日時 令和5年10月16日(月) 5校時 13:35~14:25

(2) 場所 甲府市立北東中学校 1年3組 コモンスペース

(3) 目標 テイラー先生が最近挑戦していることについての相談にこたえられるように、専門的なアドバイスができる北東中の先生を紹介することができる。

(4) 展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準〈評価方法〉
	○【Greeting】 ・あいさつをする。	○【Greeting】 ・あいさつをする。	
10分	○【Introduction】 ・JTEとALTとの対話を聞き、ALTからの投げかけや相談内容を理解する。 ・JTEからの質問に答えたり、必要があればALTに質問したりする。	○【Introduction】 ・生徒を含めて会話を行い、ALTからの相談にこたえるという本時の場面設定を行う。 ・T-Sインタラククションを通して、本時の活動における生徒の理解度を確認する。	・JTEとALTとのやり取りに生徒を巻き込む。 ・T-SインタラククションでALTが今回4つのことに興味があることを確認する。(内容面) 三単現のSについても意識する。(言語面)
<p>場面設定</p> <p>ALTのテイラー先生は、休日に様々なことに挑戦中。最近では、運動、物作り、日本語の勉強、音楽に挑戦している。北東中学校の先生で、私に専門的なアドバイスをしてくれる先生は誰かいないか？その先生を紹介してほしい。</p>			
	・目標の確認	・目標の提示	
<p>Today's Goal : テイラー先生が最近挑戦していることについての相談にこたえられるように、専門的なアドバイスができる北東中の先生を紹介しよう。</p>			
10分	【Take memo ①】 ・ワークシートの真ん中の○に、今回選んだ先生の名前を書く。 ・googleチャットに1人の先生についてのキーワードを打ち込み、クラスで共有。(2min) ・ワークシートに自分が選んだ先生のキーワードを書く。(3min)	【Take memo ①】 ・ワークシートと写真を配布する。 ・生徒のチャットのコメントが本時の目標に即しているかどうかを生徒に投げかけ、どのような情報がいいのかを考えを促す。	・内容面の適切さについて考えを深める。

10分	<p>【1st Recording】 (3min)</p> <ul style="list-style-type: none"> 配布された先生の写真を提示し、メモを頼りにしながらスピーチを録画する。 <p>【中間評価①】 (2min)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師からの問いかけに対して、内容面を中心に、本時の目標に即しているかどうかを考える。(T-S, S-S) <p>【Take memo ②】 (2min)</p> <ul style="list-style-type: none"> さらに付け加えたいキーワードがあれば、書き加える。(色を変えてメモする。) <p>【2nd Recording】 (3min)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2回目の録画をする <p>【中間評価② : Share the Video】 (5min)</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちと録画した音声を聞き合い、どんなことをどのように伝えていたかを共有する。 クラスで共有された友だちの動画を視聴し、言語面、内容面において、自分の発表に生かす。 JTE や ALT からの問いかけに対して答える。 	<p>【1st Recording】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の録画中に、机間指導を行う。 <p>【中間指導①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた内容があれば全体で共有する。 生徒が取り上げた内容が本時の目標に即しているかを確認する。 ALT は生徒の発話内容にコメントをしていき、情報を深める。 (ALT が内容面の基準) <p>【Take memo ②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い、生徒のメモの確認を行う。 生徒に問いかけながら、情報の整理をする。 <p>【2nd Recording】</p> <ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行う。 <p>【中間指導② Share the Video】</p> <ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い、フィードバックを行う。 優れた生徒の動画をクラスで共有する。 フィードバックしたものを板書する。 ALT は動画に対して内容面をコメントする。 (ALT が内容面の基準) 	<ul style="list-style-type: none"> 全くできない生徒がいるときは、What is the first sentence?などと問いかけ、Hello, Ms. Tayla. This is ~などを生徒から引き出す。 教科書等の表現内容を活用してよい。 必要に応じて、全体で発話練習などを行い、言語面の定着の指導を行う。 内容面においては、先生に対する自分の気持ち
-----	--	--	--

10分	<p>【Take memo ③】 (2min)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに付け加えたいキーワードがあれば、書き加える。(色を変えてメモする。) <p>【3rd Recording】 (3min)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後の録画をする。 <p>【Share the Video】 (5min)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有された友だちの動画を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JTE は ALT によいアドバイスだったかを聞く。 <p>【Take memo ③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行い、生徒のメモの確認を行う。 ・生徒に問いかけながら、情報の整理をする。 <p>【3rd Recording】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をし、この後に全体に共有する生徒の動画を決める。 <p>【Share the Video】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者の動画をクラスで共有する。 ・ALT は、よいアドバイスだったかコメントをする。 	<p>やALT へのアドバイスなどを加えたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書等の表現内容を活用してよい。 ・生徒のアドバイスが本時の目標に即しているかどうかを常に確認する。 ・3分間で何度も撮り直してもよいことを伝える。 ・ALT の相談にこたえられるように、アドバイスを送ることを再度確認してから録画を始める。
10分	<p>○ 【Reflection】 (10min)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【1st Recording】 と 【3rd Recording】 の自分の動画を見比べて、振り返りシートにコメントを記入する。 	<p>○ 【Reflection】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JTE と ALT からフィードバックを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標に準拠した振り返りを行う。態度面のみコメントにならないように注意する。
	<p>○ 【Greeting】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする 	<p>○ 【Greeting】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・

(5) 評価

※本時は記録に残す評価は行わないが、以下に示す評価基準をもとに、生徒の状況を把握し、指導に生かす。

「話すこと [発表]」の思考力・判断力・表現力

十分満足できる状況(a)	おおむね満足できる状況(b)	努力を要する状況(c)と指導の手立て
テイラー先生が最近挑戦していることについての相談にこたえられるように、自分の考えや気持ちとともに専門的なアドバイスができる北東中の先生を紹介している。	テイラー先生が最近挑戦していることについての相談にこたえられるように、専門的なアドバイスができる北東中の先生を紹介している。	テイラー先生が最近挑戦していることについての相談にこたえられるように、専門的なアドバイスができる北東中の先生を紹介していない。 →改善点について、ふり返しシートに記入したり、個別支援を行ったりする。また、次の時間以降に設定されている活動の中で、繰り返し指導をしていく。

本時の生徒の姿

Hello, Ms. Tayla. Look. This is Ms. Hayakawa. She is a music teacher. She sings well. She is good at playing the piano. She is very kind. I like her. So you can talk about music. Thank you.

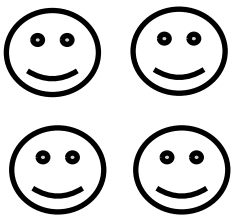
板書計画

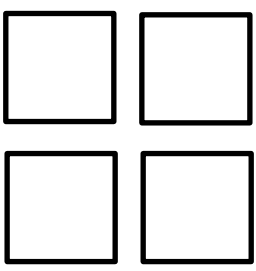
Sunny
Tuesday
October 16th

Today's Goal : テイラー先生が最近挑戦していることについての相談にこたえられるように、専門的なアドバイスができる北東中の先生を紹介しよう。

Ms. Tayla's Challenges

Our teachers





言語面

内容面

Ms. Tayla likes music.

Mr. ~ is kind.

Mr. ~ ~ is likes ramen.

I like Mr. ~ very much.

You can talk about ~.

※その他の添付資料
配布用ワークシート（マッピング図）

To Ms. Tayla

From ()

